



⚠️ 農業用機械の盗難が急増しています ⚠️

農業用機械（特にトラクター）の盗難が全国で急増しています。以前はあまり農業用機械を使わない時期に目立ちましたが、田植え前の被害が増えております。犯行現場は、主に持ち主の自宅周辺や農地です。倉庫にしまって施錠していても被害に遭うケースや、古いものでも狙われるケースもあります。

盗難被害を防ぐポイント

- 1 エンジンキーは車体に置いたままにせず、必ず持ち帰る。
- 2 警報器、ハンドルロック、タイヤロック等の盗難防止用品を装着する。
- 3 田畑に農業用機械を放置しない。
- 4 倉庫等に防犯灯、防犯カメラ、防犯警報機等を設置する。
- 5 倉庫や敷地の出入り口等の前にトラック等の障がい物を置く。



盗難被害に対する備え

- 1 農業用機械の盗難等を保障する共済や保険等（宮崎県農業共済組合）に加入する。
- 2 所有している農業用機械の車体番号や型番、特徴を記録しておく。



盗難に遭った場合の対応

速やかに警察署に届け出るとともに、加入している農業共済組合に連絡する。

事務局長のコラム（第9回）

田植えもピークを過ぎましたが、夏本番を前に、じっとりとした湿気とともに気温もぐんぐん上昇しますが、体が暑さに十分順応できていないこの時期から夏に向けて、特に注意したいのが「熱中症」です。

熱中症は、気温や湿度の高い環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなってしまったために現れるさまざまな症状の総称です。熱中症による救急搬送人数は毎年5万人以上にのぼり、うち50人以上の人が命を落としているそうです。

梅雨明け前後をピークとして、時間や場所を選ばず、赤ちゃんから高齢者まで誰にでも起こりうるのが熱中症です。熱中作用に注意してこの夏を元気に過ごしましょう。

